

令和元年度 事業報告書

令和元（2019）年10月1日から

令和2（2020）年9月30日まで

特定非営利活動法人マドレボニータ

1 事業の成果

①教室事業

・COVID-19の感染拡大による緊急事態宣言下において、居住地を問わず自宅から受講できるオンラインの産前・産後セルフケア講座を新たに開発し、945組に講座を提供した。開発にと普及にあたり東京マラソンチャリティからの寄付を活用した。また、「みてね基金」の支援を元に、日本体育大学と協力し、コロナ禍における産後女性の心身の健康状態の把握とオンライン講座の効果を測定する調査研究を開始した。

- ・シングルマザーを対象としたオンラインセルフケア講座を新たに開発し、882組に講座を提供した。
- ・対面の産後ケア教室開催数が減少したが、企業からの寄付・助成金を元に産後ケアバトン制度（多胎児の母などの受講料補助、介助者謝礼など）を運営、77組に提供した。
- ・企業向けの復職支援プログラムとして産前講座オンライン版を制作し、2社に提供した。
- ・東京都福祉保健財団の助成により、オンライン版両親学級として妊娠出産を迎えるカップル向け動画を制作し、135組が視聴した。

②養成事業

- ・1名のポールエクササイズ指導士が新たに誕生した。
- ・5月開始予定のインストラクター養成コースを3名が受講予定だったが、COVID-19の感染拡大による休校措置等の影響を鑑み、今年度の養成コースを来年度以降に延期した。
- ・昨年度にクラウドファンディングで集めた資金により、インストラクターを志す人材の発掘や産後ケア啓発のための講座や講演を北海道にて開催し、25組が参加した。
- ・産後プログラム指導法集中講座を対面と動画で開催し、27組が参加した。

③研究開発事業

- ・昨年度クラウドファンディングで調達した資金を元に、対話の場づくりプロジェクトを実施。対話の場づくりの担い手を養成するラボ（研究会）を1クール（4回）開催し、10年間続いたNECワーキングマザーサロンの知見をまとめた『マドレ式対話の場づくり手引き』を発行した。
- ・マドレジャーナル39号（特集『すべての家族に産後ケアを』）を発行した。

2 事業の実施に関する事項

（1）特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額 (千円)
産前・産後のボディケア&フィットネス教室事業	<ul style="list-style-type: none"> ・産後ケア教室、マタニティケア教室、各種教室の実施 ・産後ケアバトン制度の推進 ・企業での復職支援プログラムの推進 ・オンライン講座の開発・実施 	令和元年10月～令和2年9月	全国	154人	妊娠中～産後の女性及び家族、一般市民 5,053人	19,807

	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい両親学級の動画作成 ・企業向け産前講座オンライン講座の販売 					
産前・産後セルフケアインストラクター養成事業	<ul style="list-style-type: none"> ・インストラクター養成を実施。1名デビュー ・普及キャラバンの実施 ・集中講座の実施 ・オンライン講座の販売 ・認定インストラクター制度整備、研修の実施 	令和元年10月～令和2年9月	東京都, 北海道, 各受講者の居住地	51人	一般市民、認定インストラクター90人	3,284
産前・産後のボディケア&フィットネスプログラム研究開発事業	<ul style="list-style-type: none"> ・アプリ「ファミリースタート」利用促進 ・マドレジャーナル 39号制作発行 ・対話の場づくりプロジェクトの実施 ・産後ケアリーフレット配布 ・月刊メールマガジン発行 ・オリジナルグッズの企画・販売 	令和元年10月～令和2年9月	全国	71人	一般市民11,871人	9,067

(2) その他の事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	事業費の金額
なし	なし	—	—	—	—